

ズビエトレニヤヤリツク話

①筋肉ムキムキで身長が2mをこえる、メキシコ出身のひげがふさふさと生えていて、目はギラリと光り輝き、まゆげはきりりとしていて、顔の色は真っ黒であるが、はだはプルルンとうるおっているハンサムな男グレゴリツクはある日、

道ばたにおちている、半径5cmくらいの茶色と黄色がまざった色をした、ほのかにかつおぶしのおおいがただようあつあつのたこ焼きを手にとった。

②しかし、あまりのあつさにグレゴリツクは、片手にもっていた、この前の土曜日にイオンで半がくで買った、クロコダイルの皮でつくられた超高級なランドセルを放り投げ、川に落としてしまった。

③川に流されていくグレゴリツクが3秒前まで持っていた、この前の土曜日にイオンで半がくで買った、クロコダイルの皮でつくられた超高級なランドセルは、10mほど流された後に、たまたま川で洗濯をしていた、おばあさんに拾われた。

それぞれの主語・述語を書こう

①

主語

②

主語

③

主語

述語

述語

述語

氏名